

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

し入江、山蔦(他会)

2. 山行スタイル

マルチピッチクライミング

3. 目的

富士山を眺めながらクライミング

4. 山域／ルート

山梨県 三ツ峠山 屏風岩

5. 交通手段

車

6. 行動記録 <入山日 2023年10月01日 下山日 2023年10月02日>

前日 神戸 04:00→10:10 甲府駅(山蔦合流)→12:30 河口湖→河口湖天井山公園ハイキング

1日目 三ツ峠登山口駐車場 8:20→裏登山道→9:40 四季楽園 10:05→10:15 屏風岩→中央カンテ(一部、岳ルート)3ピッチ、草溝ルート+ジャムトースト3ピッチ→14:55 四季楽園(宿泊)

2日目 四季楽園 08:05→08:15 屏風岩→亀ルート4ピッチ→10:30 四季楽園 10:55→11:45 三ツ峠登山口駐車場→帰神

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

北岳バットレスを予定していたが天候悪化により、三ツ峠に急遽変更した。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし。

8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

三ツ峠屏風岩は古いハーケンが多く、アルパインクライミングの練習場といった感じ。支点が少なく、カム1セットあった方が良い。

9. 感想&写真

もともと明星に行こうと言っていたが天気予報が悪く、まだましそうな北岳バットレスに行くことにした。しかし徐々にバッドレス方面も天候が悪化していったが、もしかしたらワンチャンあるかもと、予定を昼からの入山に変更し、とりあえず東に向かった。願い虚しく予報はさらに悪化し、甲府駅でツタと合流後に北岳はあきらめることに。

で、これからどーする？となり、このあたりで唯一ましそうな三ツ峠へ急遽行くことにした。とりあえずその日は、河口湖を観光して時間をつぶし、翌日からクライミングすることに。

三ツ峠屏風岩は関東では古くからのマルチピッチ練習ゲレンデとして有名なところだそう。何度も来ているツタの案内でおすすめルートを2日間でさわり、右・中央・左のすべてのフェイスをさわらせてもらった。

1日目は昼過ぎから雨が降りそうなため、それまで数ルートにトライ。初めての屏風岩だったけど、取付きがハイキングコースの一部になっていて、ビレーしているすぐ後ろをハイカーが通過するという岩場だった。最初の足慣らしは、初心者が最初に練習するルートとという中央カンテに取り付く。すべてじゃんけんで順番を決めてトライし2P目をリードするが、いやに難しく、ピカピカペツルが連打してある。ビレーしているツタからは見えてなかったようだが、後で登ってきて、これ間違ってるよと。どうも10aの岳ルートを登ってしまったようだ。このルートは映画「岳」撮影のため2010年に人工ルートをフリー化し、主人公の小栗旬が本当に登ったルートらし

く、この名前が付いていると後でネットで知った。せっかく頑張ってロープを張ったのに、ツタは横に簡単なルートがあるのにこんな怖いところ登るわけないでしょと、右側にある中央カンテールートを登ってくるし。そして最後に登ったジャムトーストの 1P 目がグレードVにしてはとても辛く、リードしたツタは最初の核心をカム A0 してなんとか突破し、上部はワイドでカムも使えないが、さすがこういうのが得意なツタはなんとかズルなしで抜けていく。私はズルしてもリードは無理そうなルートで、フォローでもとても厳しかった。お気楽クライミングのはずが、私たちにとってはなかなか厳しいルートで遊んでしまった。予報通り 15 時ごろから雨が降ってきた。

夜は四季楽園の山小屋に泊まった。日曜の夜だったからか、宿泊者は私たちだけで好きな部屋を選ばせてもらえた。どの部屋もこたつが置いてあった。アイスクリームやコーヒーを無料でいただいたり、シャワーも使用でき、スタッフの方も愛想が良く、良い山小屋でした。17 時には夕食を終えて、久しぶりのこたつで暖まりながら、夜中までグダグダとしゃべり続けた。

2 日目の亀ルート 2P 目は昨日の雨が残り濡れていてリードは緊張したが、ズルなしでなんとか突破でき、その後のトラバースルートなどなかなか面白いルートだった。

目的の場所には行けなかったけど、初見の岩場を登る良い練習になり、クライミング中に振り返ると富士山が見え、景色も楽しめました。



山頂から 10 分ほど下った位置にある四季楽園



亀ルートトラバース



山頂にて、富士山と



こたつと共に